

《参考》

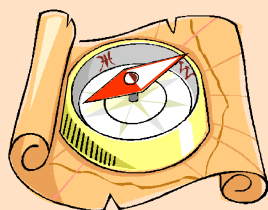
◇財政状況の提供内容（市報）

令和2年度予算 市報ちょうふ 4月5日号

令和2年度上半期財政状況 市報ちょうふ 12月5日号

令和2年度下半期財政状況 市報ちょうふ 6月5日号

令和元年度健全化判断比率等 市報ちょうふ 10月5日号



令和2年度 予算と 主要な施策

図予算：財政課☎481-7304 主要な施策：政策企画課☎481-7368



一般会計予算 929億9000万円

一般会計予算は、総額929億9000万円となり、令和元年度と比較して11億8000万円、1.3%の増となっています。

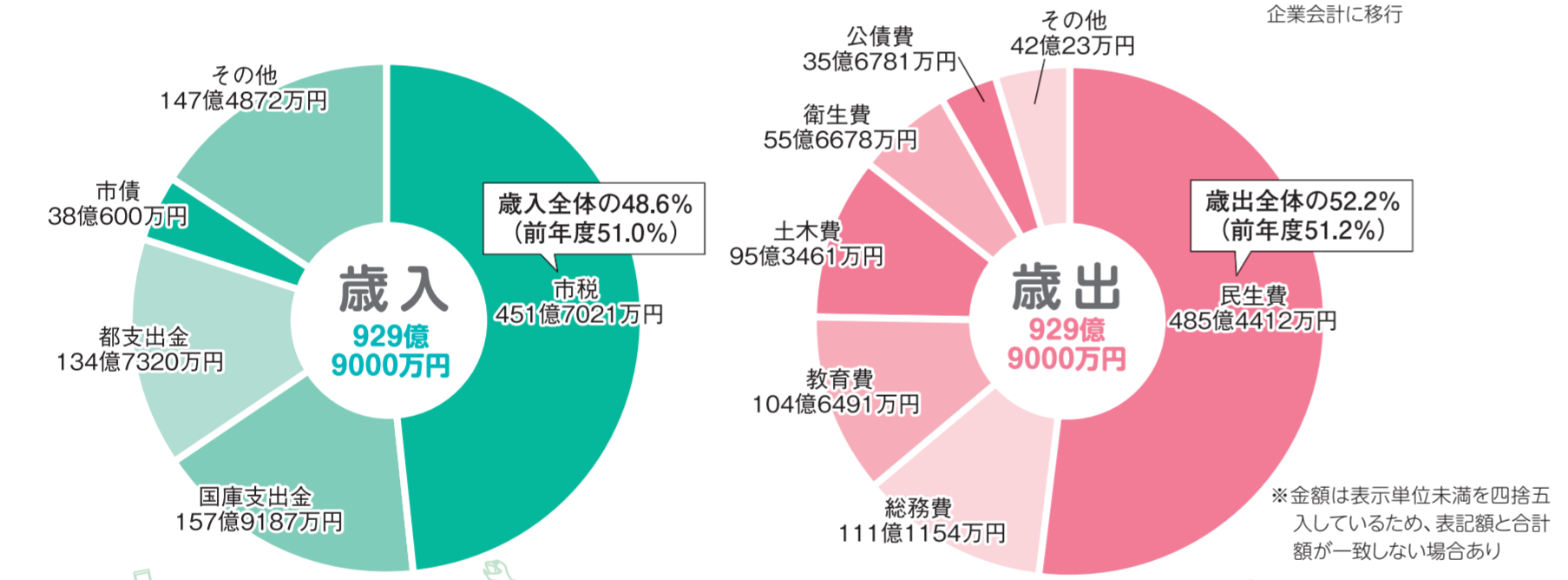
令和2年度予算編成方針

- ①基本計画や財政フレームを基本とした計画事業の着実な推進と、市民の安全・安心の確保や市民生活支援への継続した取り組み
- ②あらゆる角度からの歳入確保や事務事業の見直し・改善による経常経費縮減の取り組みなど、財政の弾力性向上に向けた行政改革の推進
- ③財政の健全性を維持するため、複数年次を見据えた財政構造の改善と財政基盤強化への取り組み

令和2年度 会計別予算額

会計	令和2年度	対前年度増減額	増減率
一般会計	929億9000万円	11億8000万円	1.3%
特別会計	442億2558万円	▲24億3452万円	▲5.2%
国民健康保険事業	211億297万円	▲1億1915万円	▲0.6%
用地	11億615万円	7211万円	7.0%
下水道事業	-	▲34億6694万円	皆減
介護保険事業	165億9452万円	9億3571万円	6.0%
後期高齢者医療	54億2195万円	1億4376万円	2.7%
公営企業会計	57億5580万円	57億5580万円	皆増
下水道事業	57億5580万円	57億5580万円	皆増
合計	1429億7138万円	45億128万円	3.3%

※下水道事業は令和2年度から公営企業会計に移行



市民1人当たりの各目的別予算額

令和2年度の予算総額929億9000万円を人口23万7054人(令和2年1月1日現在)で割ると、市民1人当たりの予算額は39万2273円になります。各目的別の市民1人当たりの予算額は次のとおりです。(予備費などは除く)

議会費 2152円 市議会の運営に関する経費	総務費 4万6873円 市役所の運営、文化・コミュニティの振興、防犯対策などに関する経費	民生費 20万4781円 子どもから高齢者までの福祉などに関する経費	衛生費 2万3483円 市民の健康管理、ごみ処理などに関する経費	労働費 198円 市内の勤労者互助会、労働振興などに関する経費
農業費 592円 市内農業の育成、市民農園の運営などに関する経費	商工費 1811円 市内商工業の振興や観光に関する経費	土木費 4万221円 道路や公園の整備など都市基盤の整備に関する経費	消防費 1万2542円 市内の地域防災対策などに関する経費	教育費 4万4146円 小・中学校などの教育関係・スポーツなどの社会教育に関する経費
				公債費 1万5051円 公共施設の建設など多額の支出をするために借入れた資金の返済に関する経費

市政経営の重点 令和2年度に実施する主な事業

5つの重点プロジェクト

重点プロジェクト① 防災・防犯の面で安全・安心に暮らせるまちをつくる

地域の防災・防犯力を高める

- 防災市民組織の育成 400万円
- 調布市避難行動要支援者避難支援プランの推進 300万円
- 防災備蓄品の確保・充実 3500万円
- 災害情報システムの維持管理・充実 3億円
- 消防団の対応能力の向上 5700万円
- 命の教育活動の推進 500万円
- 犯罪抑止対策の推進 5700万円

災害に強い都市基盤をつくる

- 特定緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進事業 9500万円
- 下水道施設の機能維持 5億3300万円

重点プロジェクト② 子ども・若者の健やかな成長・自立を支援し、子育てしやすいまちをつくる

子育て環境を充実させる

- 待機児童対策の推進 12億1200万円
- 学童クラブ施設の整備 1500万円
- 出産・子育て応援事業 2200万円

子ども・若者の健やかな成長と自立を支える

- 子ども・若者への支援 2000万円

学校教育環境を充実させる

- 小・中学校施設の整備 20億300万円
- 地域人材等を活用した教育の充実 6200万円
- 特別支援教育の推進 4500万円

重点プロジェクト③ 高齢者・障害者にやさしいけれども安心して住み続けられるまちをつくる

高齢者の暮らしを支える

- 地域包括支援センターの充実 3億6300万円
- 介護予防、日常生活支援総合事業の展開 5億9900万円

障害者の暮らしを支える

- 障害者の就労支援 6500万円
- 障害児・者医療的ケア支援事業 500万円

地域福祉を推進する

- 地域福祉コーディネーター事業の推進 6300万円
- 福祉人材育成事業の推進 2000万円

重点プロジェクト④ にぎわいと交流のある活気に満ちたまちをつくる

まちの活力を生み出す都市をつくる

- 駅前広場の整備 1億600万円
- 鉄道敷地の整備 5億2900万円
- 中心市街地における区画道路等の整備 3400万円
- 道路網計画に基づく計画的な道路ネットワークの形成 22億600万円
- 自転車等駐車場の整備・有料化 3500万円

にぎわい・交流のあるまちをつくる

- 商店街活性化の推進 4200万円
- 中小企業・小規模事業者の支援 4800万円
- 「映画のまち調布」の推進 1500万円
- 東京2020大会等を契機としたスポーツ振興による多面的効果の創出 7800万円

重点プロジェクト⑤ 人と自然が共生するうるおいのあるまちをつくる

豊かな水と緑を大切に守り生かす

- 公園・緑地、産線樹林地の保全 8億3400万円
- 公園・緑地等の整備 1億1800万円
- 深大寺・佐須地域の里山、水辺環境の保全・活用 2100万円
- 都市農地の保全・活用 2200万円

良好な景観を創出する

- 景観計画・景観条例の運用 500万円
- 深大寺地区におけるまちづくりの推進 1300万円

新は新規事業 拡は拡充事業 ※事業費は原則として100万円未満を四捨五入して掲載

その他の主な新規・拡充事業など

重点プロジェクト1 関連事業

- 地域防災計画(風水害編)の改定、国土強靱化地域計画の策定
- 台風19号対応を踏まえた取り組み(洪水ハザードマップの更新、想定浸水深の表示、調布幹線への流向計の設置ほか)
- 災害時における市ホームページなどの機能改善
- 通学路などの安全確保の推進(防犯カメラの増設、交通安全対策)
- 市庁舎などの非常用電源設備の基本設計

重点プロジェクト2 関連事業

- 多胎家庭における育児用品等購入費助成事業の実施
- 認可保育園などの紙おむつの廃棄処理の実施
- 保育所や幼稚園などのICT環境の整備
- 児童虐待防止センター事業の充実(相談体制の強化)
- 教員の働き方改革の推進(校務支援システムの本格稼働に向けた取組など)
- 新学習指導要領への対応(ICT教育の推進、外国語教育)
- 児童用タブレット端末の導入(小学校)

重点プロジェクト3 関連事業

- 再犯防止推進計画策定に向けた検討
- 生活保護制度に基づく自立支援事業の拡充(健康管理支援の実施)
- 第8期高齢者総合計画の策定
- 第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画の策定(障害者総合計画の一部改訂)
- 重度障害者等グループホームの充実(新規施設の運営支援)
- 商工会と連携した障害理解の促進(地域共生推進ふれあい商店等補助事業)
- 子ども発達センターの児童発達支援センター化
- がん検診の充実(胃内視鏡検査における対象年齢の拡大)
- ロタウイルスワクチン定期予防接種の実施
- 受動喫煙防止対策に関する取り組み

重点プロジェクト4 関連事業

- 都市計画マスタープランの改定、用途地域の指定方針・指定基準の見直し検討
- 東部地区交通環境改善事業の促進に向けた検討
- 住民発意の街づくりの推進(峯崎駅周辺、西調布駅周辺、深大寺北部地区など)
- 空き家等対策計画に基づく取り組みの推進
- シェアサイクルの取り組みの推進

重点プロジェクト5 関連事業

- 花いっぱい運動の取り組みの推進
- 都市農業育成対策事業の充実
- 都市農業活性化支援事業の実施
- 農業体験ファーム新規開園補助
- 環境基本計画の改定(中間見直し)
- 地球温暖化対策実行計画(区域施策編・事務事業編)の改定

その他事業・行革プラン関連事業

- (仮称)公共施設マネジメント計画の策定
- 総合福祉センターとグリーンホールの整備に向けた考え方の取りまとめ
- クリーンセンター跡地活用の推進(PPP事業の推進)
- (仮称)道路総合管理計画と無電柱化推進計画の策定
- 新国領第二ふれあいの家の用地取得
- 総合体育館改修工事(特定天井・大体育室床・照明)
- 新スポーツ施設の体育館の空調整備の推進
- 新公立(公設民営)保育園の公私連携型保育所への移行(深大寺保育園)
- 児童館における民間活力の活用(深大寺児童館学童クラブ)
- マイナンバー制度の適切な運用(カードの交付推進、税証明書のコンビニ交付の実施)
- 子育てワンストップサービス(マイナンバー制度における電子申請手続)
- 中学生の広島平和派遣(ピースメッセンジャー)事業
- 男女共同参画推進プラン策定に向けた検討
- 深大寺白鳥園指定記念講演会講演録の作成
- グリーンエネルギー自動車の購入
- 市庁舎におけるWi-Fi環境の整備
- 国史跡下布田遺跡整備基本計画の策定
- 働き方改革の推進(時間外勤務縮減と定時退庁の推進、変則勤務・テレワークの試行実施など)
- 景観計画・景観条例の運用
- 深大寺地区におけるまちづくりの推進

調布市受動喫煙ゼロの店ガイドブック

調布市 受動喫煙ゼロの店ガイドブック

飛田給・西調布・調布駅前のおもてなしガーデン(飛田給駅前)

中学生広島平和派遣事業(ちょうふピースメッセンジャー)



令和2年度 上半期の財政状況

閲覧・問い合わせ／財政課 ☎481-7376

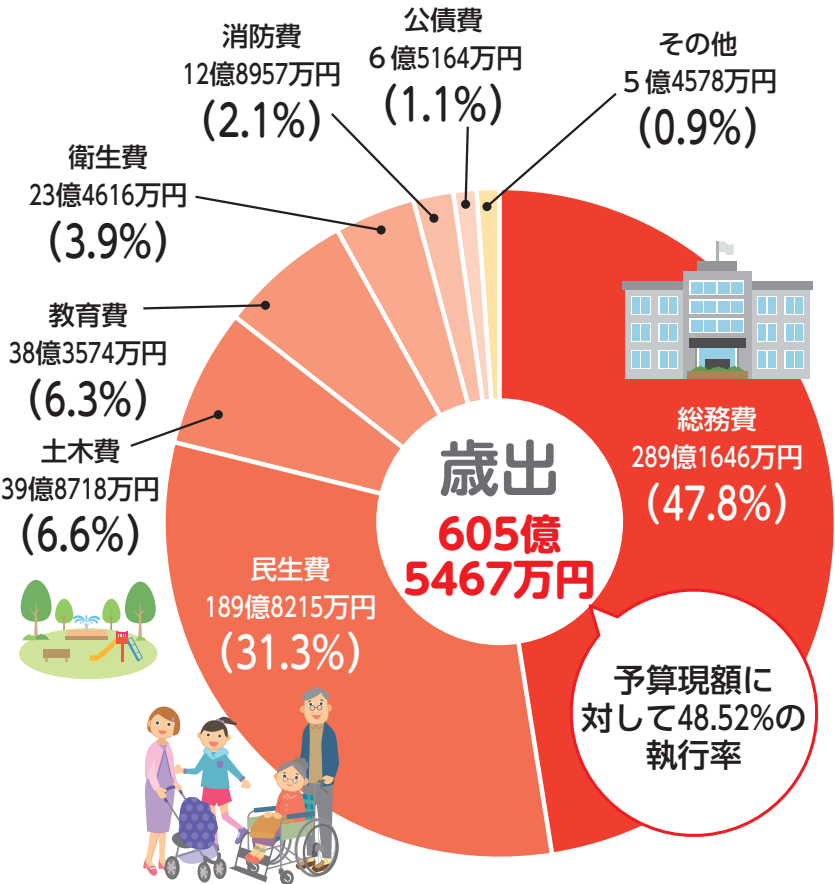
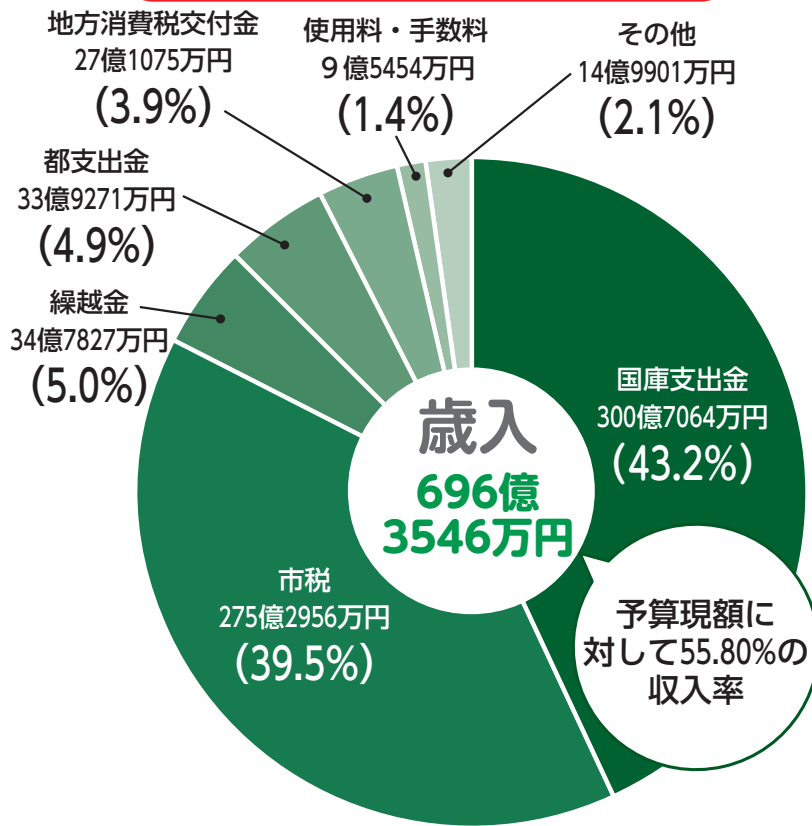
市は、市民の皆さんに市の財政がどのように運営されているのかをお知らせするため、上半期と下半期の年2回、財政状況と決算状況を公表しています。今号では、令和2年度上半期(9月30日現在)の状況をお知らせします。なお、詳細は市報でもご覧になれます。

(注)金額は表示単位未満を四捨五入しているため、表記額と合計額が一致しない場合あり

一般会計の執行状況

一般会計／市税、補助金、市債を財源に市民サービスの提供、都市基盤の整備などを行う会計
予算現額／当初予算に補正予算による増減や前年度からの繰越事業費を加えたもの

予算現額1247億9445万円



市民1人当たりの市税負担額状況

9月30日現在の市税調定額(453億6756万円余)を、同日の人口23万7636人で割ると1人当たりの市税負担額は、19万912円になります。この市税負担額に、支出済額の目的別の割合をかけると、市税が目的別にどのくらい活用されているかが分かります。

議会費 779円 市議会の運営に関する経費	総務費 9万1166円 市役所の運営、文化・コミュニティの振興などに関する経費	民生費 5万9845円 子どもから高齢者までの福祉などに関する経費
衛生費 7397円 市民の健康管理、ごみ処理などに関する経費	労働費 117円 市内の勤労者互助会、労働振興などに関する経費	農業費 153円 市内農業の育成、市民農園の運営などに関する経費
商工費 672円 市内商工業の振興や観光に関する経費	土木費 1万2570円 道路や公園の整備などに関する経費	消防費 4066円 市内の地域防災対策などに関する経費
教育費 1万2093円 小・中学校などの教育関係・スポーツなどの社会教育に関する経費	公債費 2054円 公共施設の建設など多額の支出をするために借入れたお金の返済に関する経費	

特別会計の執行状況

特別会計／特定の事業を行うための会計

事業名	予算現額	収入済額		支出済額	
		収入率 (%)	執行率 (%)	収入率 (%)	執行率 (%)
国民健康保険事業	212億1138万円	69億2314万円 32.6%	71億7203万円 33.8%		
用地	11億615万円	953万円 0.9%	784万円 0.7%		
介護保険事業	169億6666万円	65億5985万円 38.7%	66億2986万円 39.1%		
後期高齢者医療	54億2998万円	11億5585万円 21.3%	17億5633万円 32.4%		
合計	447億1417万円	146億4836万円 32.8%	155億6607万円 34.8%		

※収入済額を超過する支出済額(不足額)は、一般会計などの資金を一時運用

公営企業会計(下水道事業)の執行状況

公営企業会計／経営内容の明確化などのため、発生主義・複式簿記により収支を把握する会計(資産・負債・資本・収益・費用の増減を伴う全ての取引活動を記録し、貸借対照表や損益計算書などの財務諸表を作成)

	収入	支出
予算現額	55億6306万円	58億5029万円
執行額	28億2400万円	20億228万円
執行率 (%)	50.8%	34.2%

※下水道事業は令和2年度から公営企業会計に移行
※執行額は調定額・支出決定額を表す

調布市民意識調査にご協力を

市民の皆さんが日常感じている暮らしの満足度などを調査し、今後の市政やまちづくりに活用するための調査です。調査票をお送りしますので、期限までに回答をお願いします。
調布市に住民登録をしている16歳以上の方から無作為に抽出した約3000人
回答期限／1月7日(休)
調査結果の概要は、市報や市報などで公表
調布市企画課 ☎481-7368

凸凹山児童公園周辺の機能再編整備プラン策定に向けた意見交換会

平成29年5月に策定した「調布市公園・緑地機能再編整備プラン(案)」を基に、各公園の再編整備プランを示し、市民の皆さんのご意見を伺います。
12月19日(土)午前10時～11時30分(受付9時45分～)
西部公民館第2学習室
当日先着30人 駐車での来場は不可
調布市公園課 ☎481-7080

令和2年度 下半期の財政状況

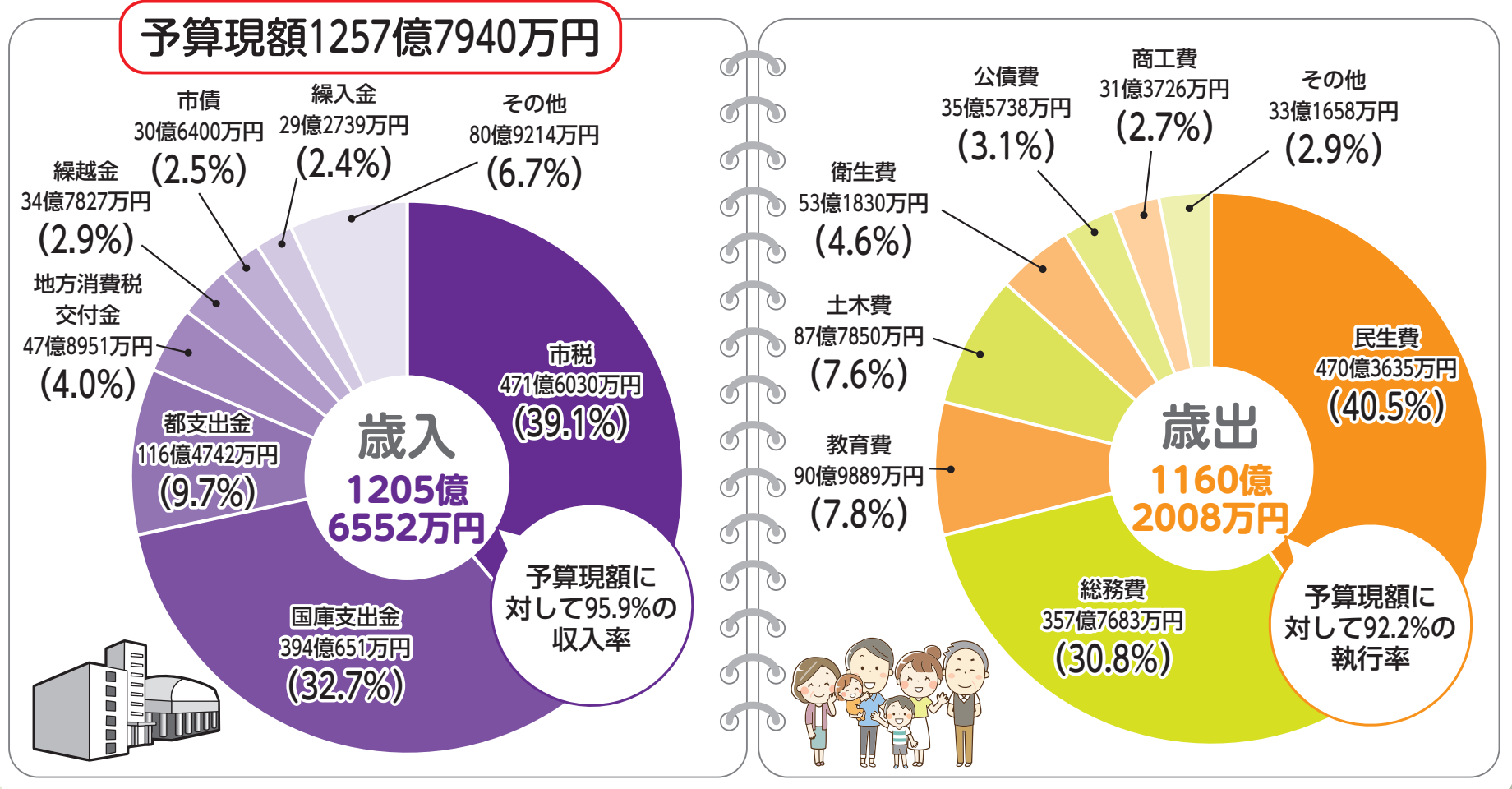
閲覧・問い合わせ／ 財政課 ☎481-7376

市では、市の財政状況を年2回公表しています。令和2年度下半期（令和3年3月31日現在）の財政状況では、当初予算929億9000万円に、7回の補正予算と令和元年度からの繰越事業費を追加した、予算現額1257億7939万7400円についてお知らせします。詳細は、市HPでも閲覧できます。

（注）千円単位を四捨五入し、万円単位で表記。千円単位で表記されている額とパーセント数値が一致しない場合あり。また、収入済額・支出済額は、令和3年4・5月の出納整理期間に収入・支出したものを含まず

一般会計の執行状況

一般会計／市税をはじめ、国・都からの補助金や市債などを財源として、市民サービスの提供、都市基盤の整備などを行う会計
 予算現額／当初予算に、補正予算による増減と、前年度からの繰越事業費を加えたもの



市民1人当たりの市税負担額状況

令和3年3月31日現在の市税調定額（478億9155万円余）を、同日の市の人口23万8087人で割ると、1人当たりの市税負担額は20万1151円になります。この市税負担額に支出済額の目的別の割合を掛けると、市税が目的別にどのくらい活用されているかが分かります。

議会費 817円 市議会の運営に関する経費	総務費 6万2029円 市役所の運営、文化・コミュニティの振興などに関する経費	民生費 8万1550円 子どもから高齢者までの福祉などに関する経費
衛生費 9221円 市民の健康管理、ごみ処理などに関する経費	労働費 102円 市内の勤労者互助会、労働振興などに関する経費	農業費 207円 市内農業の育成、市民農園の運営などに関する経費
商工費 5439円 市内商工業の振興や観光に関する経費	土木費 1万5219円 道路や公園の整備などに関する経費	消防費 4624円 市内の地域防災対策などに関する経費
教育費 1万5776円 小・中学校などの教育関係・スポーツなどの社会教育に関する経費	公債費 6167円 公共施設の建設など多額の支出をするために借入れたお金の返済に関する経費	

公営企業会計（下水道事業）の執行状況

	収入	支出
予算現額	52億1306万円	56億1041万円
執行額	50億7799万円	53億8330万円
執行率 (%)	97.4%	96.0%

※下水道事業は令和2年度から公営企業会計に移行
 ※執行額は調定額・支出決定額を表す

公営企業会計／経営内容の明確化などのため、発生主義・複式簿記により収支を把握する会計（資産・負債・資本・収益・費用の増減を伴う全ての取引活動を記録し、貸借対照表や損益計算書などの財務諸表を作成）

特別会計の執行状況

特別会計／特定の事業を行うため、または特定の収入をもってその支出に充てるために設けられる会計

事業名	予算現額	収入済額 収入率 (%)	支出済額 執行率 (%)
国民健康保険事業	212億7066万円	196億8515万円 92.5	193億3482万円 90.9
用地	8億4069万円	8億4066万円 100.0	8億4066万円 100.0
介護保険事業	166億1758万円	157億2799万円 94.6	148億6406万円 89.4
後期高齢者医療	52億9101万円	52億8483万円 99.9	52億2833万円 98.8
合計	440億1994万円	415億3863万円 94.4	402億6787万円 91.5

市債残高の状況

【一般会計】

区分別	市債残高(構成比率(%))
土木債	166億9880万円 (41.0)
教育債	99億703万円 (24.4)
総務債	40億6768万円 (10.0)
臨時財政対策債	40億6760万円 (10.0)
民生債	22億582万円 (5.4)
衛生債	18億8567万円 (4.6)
消防債	9億7397万円 (2.4)
減税補填債	7億6325万円 (1.9)
減収補填債(特例分)	6372万円 (0.2)
枠外債	5500万円 (0.1)
災害援護資金貸付金債	320万円 (0.0)
合計	406億9174万円 (100.0)

市債とは、短期間に多額の財源を必要とする事業に充てるため、国・東京都などから借り入れる資金で、毎年返済していきます。市債には、資金調達や事業にかかった経費を平準化し、世代間の負担を公平にする効果があります。

【公営企業会計(下水道事業)】

区分別	市債残高
下水道債	72億3945万円

Topics トピックス

教育委員会委員を任命

市は、令和2年第3回調布市議会定例会で議会の同意を得て、10月1日付けで次の方々を任命しました。任期は令和6年9月30日までの4年です。(敬称略)

- 福谷文夫(新任) ●榎本竹伸(新任) (総務課)

未来につなぐ調布の環境 ～みんなでつくろう これからのちょうふ～

市は、環境施策を束ねるマスタープランである「調布市環境基本計画」と、市民・事業者・市が地域の地球温暖化対策を推進するため策定した「調布市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」の見直しを進めています。調布の未来をつくるためのアイデアを一緒に考えませんか。

テーマ/①里山環境の保全 ②ストップ地球温暖化 新たなライフスタイル ③環境保全活動の体験

A対面型ワークショップ(会場に集まりグループごとにアイデアを出し合う)

日 10月24日(土)午後2時～4時 所 教育会館2階会議室
定 申し込み順20人程度
休 10月22日(休)

Bワークショップなどで活用するアイデアの募集(市HPに掲載の資料を元に、アイデアを市に送付)

日 10月5日(月)～22日(休)

Cオンライン座談会(パソコンやスマートフォンを使つての意見交換)

日 10月30日(金)午後3時～4時30分
定 申し込み順10人程度※オンライン環境が整っている方 休 10月26日(月)
他テーマは②のみ。Zoomで開催。音声のみの参加不可。事前に座談会開催のURLや会の進め方をEメールで連絡

A～C共に

対 市内在住・在勤・在学の方、市内で環境保全活動などを行っている方
費 無料 他 詳細は市HP(下記2次元コードからアクセス可)を参照
申 参加希望記号(A～C)、参加者氏名、住所(市外の場合は在勤・在学などの有無も)、当日の連絡先(電話番号)に加え、A 関心のあるテーマ(①～③)、C メールアドレスを明記し、EメールまたはFAXで〒182-8511市役所環境政策課 ☎481-7086・☎481-7550
・E kankyou@w2.city.chofu.tokyo.jpへ※Bのみ郵送可



令和元年度健全化判断比率等の公表

地方公共団体は、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、財政運営に関する実質的な赤字や将来負担を表す「健全化判断比率」4指標と、公営企業の実質的な資金不足に関する「資金不足比率」を公表することが義務付けられています。令和元年度の各比率について、令和2年第3回市議会定例会で了承されましたので、お知らせします。

市の健全化判断比率 (%)

年度	区分	①実質赤字比率	②連結実質赤字比率	③実質公債費比率	④将来負担比率
令和元	健全化判断比率	-	-	0.3	9.7
	早期健全化基準	11.33	16.33	25.0	350.0
	財政再生基準	20.00	30.00	35.0	-
平成30	健全化判断比率	-	-	0.5	6.8
	早期健全化基準	11.30	16.30	25.0	350.0
	財政再生基準	20.00	30.00	35.0	-

市の公営企業資金不足比率 (%)

区分	年度	公共下水道事業
⑤資金不足比率	令和元	-
	平成30	-
経営健全化基準		20.0

※赤字額がないため、実質赤字比率と連結実質赤字比率は「-」表示。実質収支は約27億9000万円(6.13%)の黒字、連結実質収支は約34億9000万円(7.68%)の黒字

※資金不足額がないため、資金不足比率は「-」表示

用語の説明

- ①実質赤字比率/一般会計などの赤字額が標準財政規模(市税などの財源の規模)に対してどれくらいの割合になるかを示すもので、数字が大きいくほど財政運営の深刻度が増します。
- ②連結実質赤字比率/全会計の赤字額が、標準財政規模に対してどれくらいの割合になるかを示すもので、数字が大きいくほど財政運営の深刻度が増します。
- ③実質公債費比率/借入金(市債)返済額とこれに準じる額の大きさを示すもので、数字が大きいくほど資金繰りの危険度が増します。
- ④将来負担比率/借入金(市債)や将来支払う可能性のある負担などを示すもので、数字が大きいくほど将来の財政運営を圧迫する可能性が高くなります。
- ⑤資金不足比率/公営企業の料金収入に対する資金不足がどのくらい足りないかを示すもので、数字が大きいくほど経営状況の深刻度が増します。

監査委員の審査意見

令和元年度における健全化判断比率等は、いずれも早期健全化基準等を下回っており、財政収支が不均衡な状況またはその他の財政状況が悪化した状況とは認められなかった。引き続き財政の健全化に努められたい。

詳細は市HP参照 財政課 ☎481-7376

審議会等の会議の傍聴

※要マスク着用・発熱などの風邪症状がある場合は傍聴不可。新型コロナウイルス感染症の感染状況により中止・延期の場合あり

第3回調布市障害者総合計画策定委員会

日 10月15日(木)午後6時30分～8時30分(受付6時10分～) 所 文化会館たづくり12階大会議場 定 当日先着5人 備 車椅子や手話通訳を希望する場合は要事前相談 障 障害福祉課 ☎481-7135・☎481-4288

調布市公民館運営審議会第5回定例会

日 10月20日(水)午後2時～(受付1時50分～) 所 北部公民館第1・2学習室 定 当日先着3人 障 東部公民館 ☎03-3309-4505

第3回調布市環境基本計画等改定委員会

日 10月21日(木)午後2時～(受付1時50分～) ※1時間30分程度

所 文化会館たづくり12階大会議場 定 当日先着5人

障 環境政策課 ☎481-7086

第4回調布市廃棄物減量及び再利用促進審議会

日 10月28日(水)午後6時30分～8時30分(受付6時15分～) 所 教育会館3階301・302研修室 定 当日先着3人 障 ごみ対策課 ☎481-7812

第2回調布市障害者地域自立支援協議会全体会・障害者差別解消支援地域協議会

日 10月29日(木)午後3時～6時(受付2時40分～) 所 グリーンホール小ホール 定 当日先着5人 備 車椅子や手話通訳を希望する場合は要事前相談 障 障害福祉課 ☎481-7135・☎481-4288

調布市消防団が防災功労者内閣総理大臣表彰を受賞

昨年10月の台風第19号の接近に際し、調布市消防団が警戒巡視、避難誘導、人命救助、排水活動など、積極果敢に水防活動を実施した功績が認められ、表彰されました。



調布市消防団の小津浩彦団長(左) 安倍前首相(中央) 武田前防災担当大臣(右)

◎調布市消防団が救命ボート運用訓練を実施

調布消防署の指導のもと、9月13日に救命ボート運用訓練を実施しました。昨年の台風19号の被害を踏まえ、水防体制の充実強化と水防活動技術の向上を図るため、救命ボート2艇、救命胴衣150着を追加配備しました。(総合防災安全課)



調布交通安全協会会長が交通安全功労者表彰(個人の部)を受賞

調布交通安全協会の大槻智子会長は、交通指導員として44年間、主要幹線道路の交差点、通園・通学路で、交通安全指導を行っています。また、自転車利用者に対して交通ルールやマナー向上を目指して啓発活動を行うなど、交通事故防止に多大なる活動実績が認められ、表彰されました。

◎調布市交通安全協会の活動

春・秋の全国交通安全運動や、交通少年団の交通安全活動に携わるほか、市の行事の交通整理や交通安全活動にも参加するなど、交通事故防止に向け取り組みを行っています。

◎交通安全協会会員と交通少年団の募集

交通事故を1件でも減少させるため、誰もが安心安全に暮らせるまちづくりに協力しませんか。詳細は、調布交通安全協会 ☎482-3042へ。(交通対策課)



大槻智子会長(左から2番目) 衛藤前内閣府特命大臣(左から3番目)